

中間報告に係る論点例

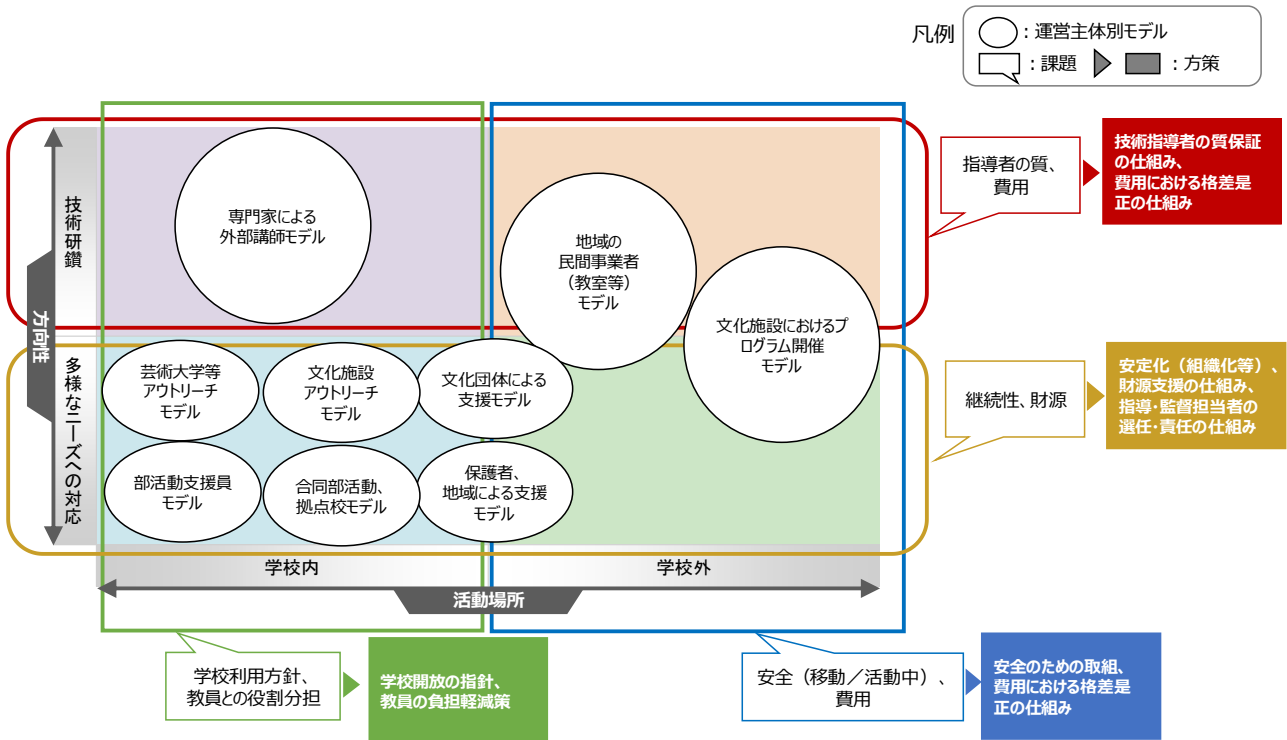
本日ご議論いただきたい論点の例は以下のとおり。

1. モデルについて

1.1 モデルの種類について

モデルとして取り上げるべきものが他にないか。具体例についてもご教示いただきたい。

- 現在検討しているモデル
 - ✓ 専門家による外部講師モデル
 - ✓ 芸術大学等アウトリーチモデル
 - ✓ 保護者、地域による支援モデル
 - ✓ 部活動支援員モデル
 - ✓ 文化団体による支援モデル
 - ✓ 地域の民間事業者（地域のお稽古事教室等）モデル
 - ✓ 文化施設等におけるアウトリーチモデル／プログラム開催モデル



1.2 モデルの特徴について

それぞれのモデルにはどのような特徴があるか。

- 目的・目標
- 対象者
- 実施可能な芸術教育（芸術活動）の内容
- 活動形態（講師や監督者派遣、活動場所提供、教育プログラム提供 等）
- 財源の在り方
- メリット・デメリット 等

1.3 モデル実施の上での留意事項

モデル実証にあたって、各運営主体が留意すべき事項はどのようなことか。

2. 部活動の地域移行に係る基本の方針について

以下について、追加・修正すべき点、参照すべき事例等がないか、ご議論いただきたい。

2.1 子供への芸術教育における文化部活動の位置づけ

部活動の地域移行の基本の方針を定める前提として、子供への芸術教育の現状を以下図に暫定的に整理。

	教育課程内		教育課程外		
	芸術系教科	芸術系教科以外の芸術鑑賞・体験	部活動	社会教育	個別家庭による稽古・学習
提供者	学校	学校(一部学校外)	学校(一部学校外)	学校外(社会教育施設等)	学校外(民間、家庭等)
主要な目標	能力・資質育成	能力・資質育成	能力・資質育成に資する ・自己肯定感の涵養 ・学習意欲の向上 ・責任感・連帯感の涵養		
	文化への親しみ	文化への親しみ	文化への親しみ 人間関係の構築	文化への親しみ 地域の文化力の向上	文化への親しみ 地域の文化力向上
				生涯にわたって文化芸術に親しむ態度の涵養	技能研鑽
				多様なニーズへの対応	多様なニーズへの対応
主要な課題	既存教科に限定される 主要な指導者が教員 生徒ニーズを反映しにくい	内容・時間・予算等が限定 生徒ニーズを反映しにくい	教員・生徒の負担増 内容・時間・予算等が限定 生徒ニーズを反映しにくい (その他前頁参照)	予算等が限定 地域格差がある 持続可能性が確立されていない	地域格差がある 家庭ごとの格差がある 教育的配慮が十分ではない場合がある

図 2 子供への芸術教育の現状 (詳細は資料 1-1 参照)

2.2 地域移行に係る取組事項について

第 2 回までの検討会議を踏まえ、部活動の地域移行の基本の方針を以下図のように整理。

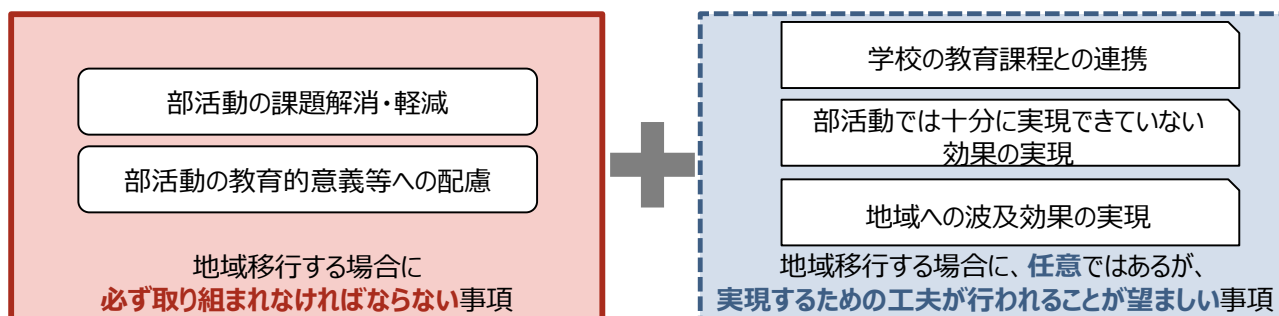


図 3 文化部活動の地域移行の基本の方針 (詳細は資料 1-1 参照)

3. 地域単位での文化部活動（文化芸術活動）の取組について

地域単位での文化部活動（文化芸術活動）の取組がもたらす効果を整理。追加・修正すべき点がないか、ご議論いただきたい。

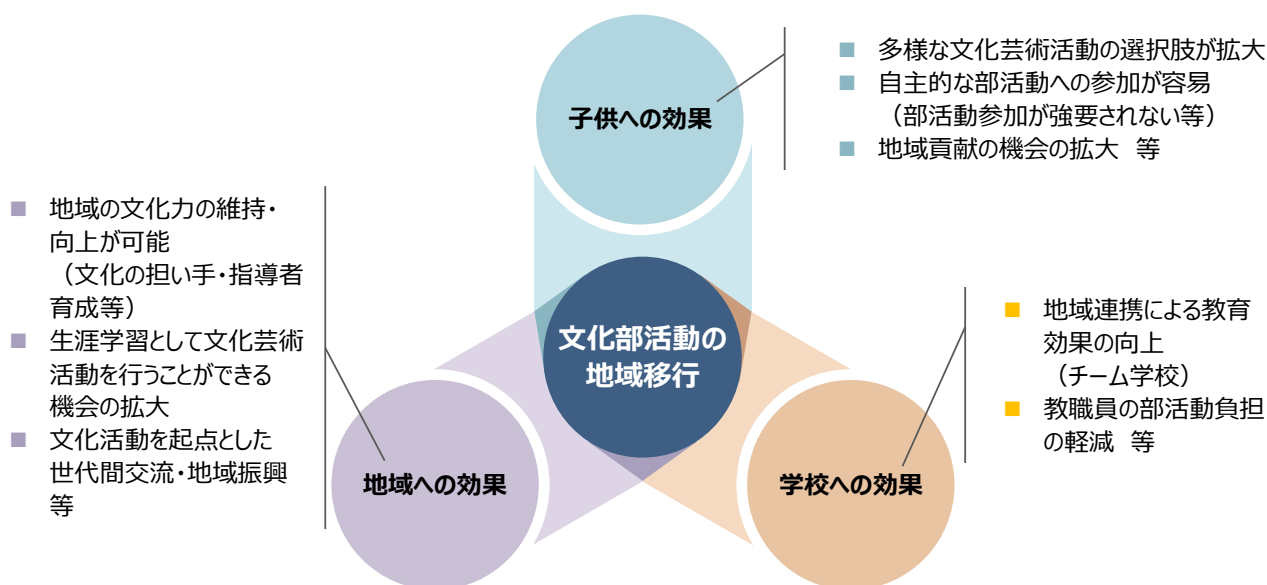


図 4 地域単位での文化部活動（文化芸術活動）の取組の効果

4. 地域移行に係る論点について

第2回までの検討会議を踏まえ、論点を以下に整理。追加・修正すべき点がないか、ご議論いただきたい。

また、学校教育の一環として行われている部活動が地域移行した際、その意義がどのようになるのか、文化部活動ガイドラインが地域移行した場合にも適用されるべきか、について、ご意見をいただきたい。

- 部活動の意義と部活動の地域移行の関係性
- 安全・責任体制の構築
- 学校運営管理者及び教育委員会との連携
- 指導者育成の在り方
- 安定性・継続性の確保
- 教員及び生徒の部活動負担軽減
- 「文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」の運用の在り方

(以上)